

英語科学習指導案

広島市立観音中学校

- 1 日時・場所 令和元年11月6日(水) 10:15~11:05 会場 会議室B
- 2 学年・学級 3年6組(男子17名 女子21名 計38名)
- 3 単元名 ONE WORLD English Course 3 「Lesson 5 Athletes and languages」
- 4 単元について

(1) 教材観

本単元は、世界で活躍する日本人アスリートと彼女たちの外国語習得についての話題が取り上げられている。

言語材料としては、人や物について詳しく説明する関係代名詞が扱われており、事物を詳しく説明するための表現を学ぶのに適した単元である。したがって、本単元では平成29年告示の学習指導要領の1目標の中で「書くこと」のウ「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする」ことの指導として位置づけ、紹介されている人物について読み取るだけではなく、聞いたり読んだりしたことについて概要をまとめたり、その内容に関する自分の意見や感想などをまとまりのある英文で書いたりする力を養うのに適した単元であると言える。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、間違ふことを恐れず積極的に話そうとする生徒が多い。英語の学習が苦手な生徒もいるが、お互いに関わり合いながら活動に取り組むことができる。本年度行われた全国学力・学習状況調査の結果では、「英語の勉強は好きですか」という質問に対し、肯定的な回答が63.4%、「英語の勉強は大切だと思いますか」という質問に対しては、肯定的な回答が85.6%であることから、英語の学習に対して前向きであることがわかる。

「聞くこと」については、全国平均を上回っているが、「書くこと」については、全国平均と比べ8ポイント低い結果である。無回答率が低いことから、問題に対して何かを書いて伝えようとする意欲はあるが、文法や正しく語彙を書くといった「正確さ」に欠けていると考えられる。まとまりのある文を書く際、まずは、テーマに対して自分の考えや意見を「話すこと」でアウトプットさせ、話した内容を「書くこと」につなげてきた。聞き手や読み手に伝えたいという意欲は高まったものの短文や単純な表現に留まっていることが多く、接続詞を用いてまとまりのある文章を書いたり、詳しく表現したりすることに課題がある。

「平成31年度 全国学力・学習状況調査」より抜粋

		本校	広島県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	聞くこと	72.7	67.6	67.9
	読むこと	53.5	55.2	55.6
	書くこと	37.8	45.3	45.8

(3) 指導観

上記のような生徒観に基づき、本単元においては、

- ① 生徒が主体的かつ意欲的に取り組めるよう、生徒にとって身近で必然性のある言語の使用場面を設定する。
- ② 帯活動で、終末の表現活動につながる語彙、表現等を繰り返し練習させ、定着を図る。また、本文から必要な表現を見つけ出し、自己表現につなげる活動を仕組む。
- ③ 話したことを書くことにつなげ、正確性も求める指導を行う。

①では、コミュニケーションの目的、相手、場面、状況を明確に設定する。本単元では「東京オリンピックに興味をもっている世界の人に、SNSを通じて日本人アスリートを紹介する」とした。

本単元のはじめに実際の SNS の投稿に触れ、単元の終わりに自分が作成するライティングのゴールのイメージを持たせる。また、英語で SNS で発信することで世界の人とコミュニケーションをとれるようになるという期待をもたせ、英語学習の意欲を高める。

②では、スラスラ ENGLISH に単元目標達成のために必要な表現を盛り込み、毎時間継続して練習させ、定着を図る。また、教科書本文を読む際、紹介されている人物について読み取るだけではなく、自己表現に使える文をみつけたり、本文で紹介されているアスリートについて説明するリテリングを行うことを通して言語材料を取り入れ、単元の終末には、自分の注目している選手についての紹介文を書き上げることができるよう指導する。

③では、リテリングや感想をまず口頭で表現させ書くことにつなげていく。書いたものをグループ内で相互に読み合っ改善したものを教師に提出し、フィードバックをすることを通して英文の正確さを向上させていく。

以上の工夫を通して、本単元で生徒に身につけさせたい力を育んでいく。英語で自分の考えや思いを世界に発信できる喜びを感じさせながら、英語で表現する能力へとつなげていきたい。

5 単元の目標

読んだり聞いたりしたことについて、概要をまとめたり、自分の考えを理由と共に読み手に伝わるように書いたりすることができる

※「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連 → 書くこと ①

[学習到達目標 (第3学年終了時の目標)]

外国語表現の能力		外国語理解の能力		
話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと	
やり取り	①聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや意見をまとめて、わかりやすく相手に伝えることができる。	読んだり聞いたりしたことについて、概要をまとめたり、自分の考えを理由とともに読み手に伝わるように書いたりすることができる。	物語や機内アナウンスなど、内容的にまとまりのある話を聞いて、その概要や要点などの必要な情報を聞き取ることができる。	物語や説明文など、話の内容や書き手の意見を読み取り、自分の感想や賛否とその根拠を示せるように読むことができる。
発表	②電話で約束したり、レストランで注文したり、道案内をしたり、自分の知識を使って具体的にやりとりすることができる。	身近な出来事や体験について、事実や自分の考え、主張などを読み手に伝わりやすい構成で書くことができる。	自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。	物語や説明文など、内容的にまとまりのある英文を読み、わからない語などがあっても、あらすじや要点などの概要をとらえることができる。

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
知っている語句や表現を活用して、人を紹介する文を書こうとしている。	読んだり聞いたりしたことについて、概要をまとめたり、自分の考えを理由とともに読み手に伝わるように書くことができる。		

7 単元指導計画・評価計画(全10時間)

時	学習内容	評価規準	評価方法
1	○ 本単元で身につける技能や理解する内容を知る。 ・ 最終ゴール(ライティングテスト)を理解する。 ・ 実際の SNS 投稿を紹介し、イメージを持つ。 ・ 関係代名詞 who を用いて人物を紹介する練習をする。		
2	○ 関係代名詞 that を用いて、人以外のものについて詳しく説明する。		
3	○ 本文 part1 を読み、内容を理解する。 ・ 紹介文に活用できる表現を見つける。		
4	○ 本文 part2 を読み、内容を理解する。 ・ 紹介文に活用できる表現を見つける。 ・ 佐藤真海さんについて読んだ感想を英語で書く。 ・ 注目している選手を紹介する。	ア	活動の観察
5	○ 本文 part1, 2 の内容から、佐藤真海さんを紹介する文をグループで書く。 ・ 人物を紹介する際に必要な表現を確認する。 ・ 注目している選手を紹介する。	イ	ワークシート
6 (本時)	○ 自分が注目しているアスリートを紹介する文を書く。 ・ ALT のプレゼンテーションから、人物を紹介する際に必要な表現を見つける。	ア イ	活動の観察 後日ペーパーテスト
7	○ 紹介文を読み合い、再構成する。	イ	ワークシート
8	○ part3 を読み、内容を理解する。 ・ 紹介文に活用できる表現を見つける。 ・ part3 の内容をリテリングする(福原愛さんについて) ・ part3 を読んだ感想を英語で書く。	ア	活動の観察
9	○ part4 を読み、内容を理解する。 ・ 紹介文に活用できる表現を見つける。 ・ part4 を読んだ感想を英語で書く。	ア	活動の観察
10	○ 自分が注目しているアスリートについて思っていること、世界に向けてのメッセージを書き、紹介文を完成させる。	ア イ	活動の観察 ワークシート
後日	ライティングテスト (紹介文)	イ	ペーパーテスト

(観点別評価の進め方)

- ア 知っている語句や表現を活用して人を紹介する文を書こうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(1) 評価方法	第4・6・10時のライティングの活動において評価する。
(2) 評価の決定	既習事項を十分に活用して書けないところがあっても、知っている語句や表現を用いたり、辞書を活用して書き続けている場合、概ね満足できる状況」(B)とする。
(3) 「努力を要する状況」(C)と判断した生徒に対しての手立て	書きたい内容を整理、確認した上で、適切な英単語や表現を挙げさせることや辞書を積極的に活用するよう声かけや支援をする。

- イ 読んだり聞いたりしたことについて、概要をまとめたり、自分の考えを理由とともに読み手に伝わるように書くことができる。(外国語表現の能力)

(1) 評価方法	原稿及びペーパーテストで紹介文の内容を評価する。
(2) 「概ね満足できる」状況(B)と判断した具体例	This is Naomi Osaka. She is a tennis player who became the first Japanese champion of Grand Slam tournament. She has double nationalities of Japan and America. She is going to take part in Tokyo Olympic games as Japanese. Her mother is Japanese and her father is from Haiti. I like her. She is a very strong player but she's always modest. Please check her out!. Let's enjoy Tokyo Olympics together.
(3) 「努力を要する状況」(C)と判断した生徒に対しての手立て	具体的な表現の提示や、表現方法を助言し、次につながる指導に努める。

8 本時について

(1) 本時のねらい

自分の注目するスポーツ選手を紹介する文を書く。

(2) 本時の評価規準と具体的な生徒の姿

観点	評価規準	具体的な生徒の姿
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	知っている語句や表現を活用して、人を紹介する文を書こうとしている。	わからない表現等があっても、知っている語句や文法を用いて簡単な文で書こうとする。

(3) 本時の指導過程と評価

学習活動	◇ 指導上の留意事項 ◆ 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て	評価規準 (評価方法)
Warm up ○Chat ○Song ○Pair work (スラスラ ENGLISH) ○Picture describing (人物について即興で表現)	◇ 会話を継続させるための大切な態度を事前に確認する。 ◇ ペアを変えながら、負荷・難易度を少しずつ上げながら練習回数を重ねさせる。 ◆ 活動が停止しているペアには表現したい内容を確認し、簡単な内容に置き換える支援をする。	

<p>Introduction</p> <p>○ 単元目標と本時の目標を確認する。</p>		
<p>注目しているスポーツ選手を紹介する英文を書こう。</p>		
<p>○ Retelling 生徒が佐藤真海さんについてALTに伝える。</p> <p>Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALTによるアスリートの紹介を聞く。 ・ 紹介の仕方及び内容を把握する。 <p>○ Useful Expressions</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使える表現を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>_____ is one of the greatest snowboarders that America has. Many American people cheer for him.</p> </div> <p>○ Practice1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアで自分が紹介したいオリンピック選手について口頭で紹介をする。ペアを変えて数回練習する。 <p>○ Feedback</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話した内容を確認する。 <p>○ Practice2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなペアで口頭練習する。 <p>○ Practice1,2 で話した内容を基に、ワークシートにアスリートを紹介する文を書く。</p> <p>○ Share</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数名が原稿を発表する。 <p>○ Review</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価用紙に記入する 	<p>◇パワーポイントを用いて視覚的に支援を行い、ALTと生徒のインタラクションで展開していく。</p> <p>◆理解を確認するため、必要に応じて日本語を使用する。</p> <p>◇これまで確認してきた便利な表現を使用することや、読み手に伝わりやすい構成にするよう意識付けをする。</p> <p>◇発表に対してALTが質問を投げかけ、理由や思いを表現に付け加えるきっかけを作る。</p> <p>◇Practice1の表現に、理由や思いを付け足して表現を豊かにすることを促す。</p> <p>◆活動が進まない生徒に対し、表現したい内容を確認すると共に、簡単な表現に置き換えて取り組めるよう支援する。</p>	<p>ア 知っている語句や表現を上手く利用して人を紹介する文を書こうとしている。(活動の観察)</p> <p>イ 語句や表現、文法事項などの知識を正しく活用しながら、人物の紹介、自分の思い、読み手へのメッセージを含む、まとまりのある文を書くことができる。(後日ペーパーテスト)</p>